

輸送動向について（8月分）

平成23年9月

1. 輸送概況

今月は、月を通して各地で大雨による輸送障害が度々発生するとともに、駿河湾沖、福島県沖をそれぞれ震源とする地震に伴う運転規制が実施された。これらの輸送障害に加え、東日本大震災による常磐線の不通が継続し、月全体では高速貨443本、専貨2本が運休した。なお、7月の新潟・福島地方の豪雨により不通となっていた上越線は、8月13日に運転を再開した。

荷動きについては、震災に伴う生産の減少に加え、自然災害による輸送障害の影響を強く受け、月を通して前年を大きく下回った。また、円高の影響を受け輸出製品の生産が低調となったことから、一部の品目において輸送量の減少が見られた。

コンテナ貨物は、自動車部品が前年を大きく上回ったものの、震災の影響を強く受けた紙・パルプ、食料工業品、化学工業品などが前年を下回り、全体では前年比92.8%となった。自動車部品は震災後の部品供給の安定化により、上期の減産を挽回するためにメーカー各社が増産体制となり増送となった。一方、食料工業品は震災の影響のほか、前年が猛暑で清涼飲料水の出荷が極めて旺盛だったこともあり前年を大きく下回った。

車扱貨物は、石油を始めほぼ全ての品目が前年を下回り、全体では前年比93.3%となった。石油は昨年、猛暑により需要が急増したため本年は大きく減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,540	1,660	92.8%	7,646	8,488	90.1%
車 扱	762	816	93.3%	3,555	3,891	91.4%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	137	142	-5	96.5%
	化学工業品	148	164	-16	90.2%
	化学薬品	112	120	-8	93.3%
	食料工業品	250	270	-20	92.6%
	紙・パルプ	210	261	-51	80.5%
	他工業品	125	123	2	101.6%
	積合せ貨物	158	167	-9	94.6%
	自動車部品	70	61	9	114.8%
	家電・情報機器	36	39	-3	92.3%
	エコ関連物資	25	29	-4	86.2%
	その他	269	284	-15	94.7%
	コンテナ計	1,540	1,660	-120	92.8%
車 扱	石油	487	522	-35	93.2%
	セメント・石灰石	119	124	-5	95.9%
	車 両	66	81	-15	81.5%
	その他	90	89	1	100.9%
	車 扱 計	762	816	-54	93.3%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)